

平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ プ ロ セ ル  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 横 山 周 史  
 (コード番号：4978)  
 問 合 せ 先 取 締 役 C F O 白 井 大 祐  
 (TEL. 045-475-3887)

### 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 平成 29 年 3 月期（通期）個別業績と前期業績値との差異

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円)
前期（平成 28 年 3 月期） 実績（A）	431	△331	△427	△1,774	△32.7
当期（平成 29 年 3 月期） 実績（B）	374	△400	△283	△278	△4.8
増減額（B）－（A）	△57	△69	143	1,495	－
増減率（%）	△13.3	－	－	－	－

#### 2. 差異が生じた理由および今後の方針

当社では、当期に受託サービスを数件受注しており、進捗状況に応じて段階的に売上が計上される仕組みとなっています。売上高につきましては、前期に比べ売上高が 57 百万円減少し、374 百万円となり、それに伴い営業利益も 69 百万円減少しましたが、これは受託サービスの売上計上タイミングが来期以降にずれ込んだ事が主な要因であります。

経常利益につきましては、為替差損の減少及び子会社への貸し付けに対する利息の計上により、143 百万円増加し、△283 百万円となりました。

また、当期純利益につきましては、前期は減損損失の計上により一時的に特別損失が発生しましたが、当期はそのような特別な要因は発生いたしませんでした。そのため、前期比 1,495 百万円の増益となり、△278 百万円となりました。

医薬品および研究試薬の世界市場規模は、一般に日本の 10 倍程度と言われており、現在は米国と欧州が最大の市場を形成しています。このような背景の中、当社は海外展開を重要な成長戦略と位置づけ、2014 年以来、M&A や海外代理店との販売提携により、海外での売上比率の向上に注力してまいりました。

同日に開示した「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した通り、連結売上高においては前期から 191 百万円増加し、1,257 百万円となりました。当社グループでは現在売上の約 7 割が海外での売上となっており、当初の計画通り、海外展開が順調に進んでおります。

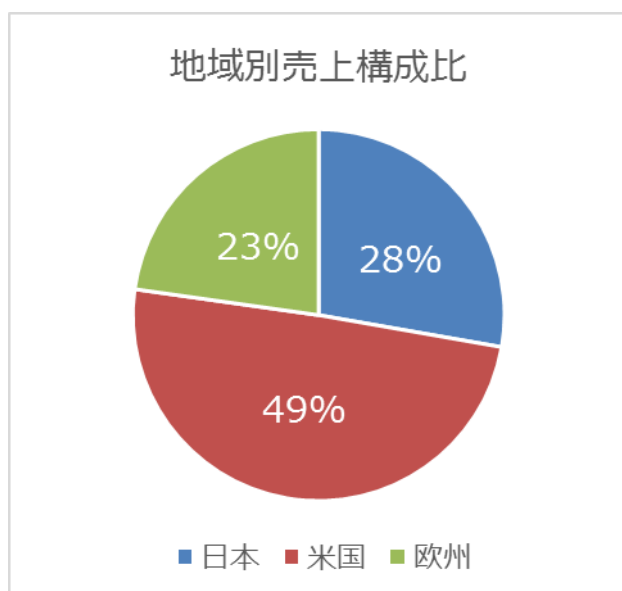
今後も引き続きグローバル展開を拡大するとともに、各地域での活動を強化することによって、事業の成長に貢献してまいります。

(ご参考)

【当期および前期の連結業績の比較】

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
当期 (平成 29 年 3 月期) の連結業績予想	1,305	△898	△801	△801
当期 (平成 29 年 3 月期) の連結業績実績 (A)	1,257	△944	△937	△911
当社 (日本) の実績	374	△400	△283	△278
前期 (平成 28 年 3 月期) の連結業績実績 (B)	1,066	△1,024	△1,169	△1,961
当社 (日本) の実績	431	△331	△427	△1,774
前期との差異 (A) - (B)	191	80	232	1,050
当社 (日本) の実績	△57	△69	143	1,495

【平成 29 年 3 月期の地域別売上構成比 (連結)】



以 上